

RTView 新バージョン 7.4 リリース

IoT データのリアルタイムなグラフィック可視化と監視ダッシュボードを対話的にカスタム構築

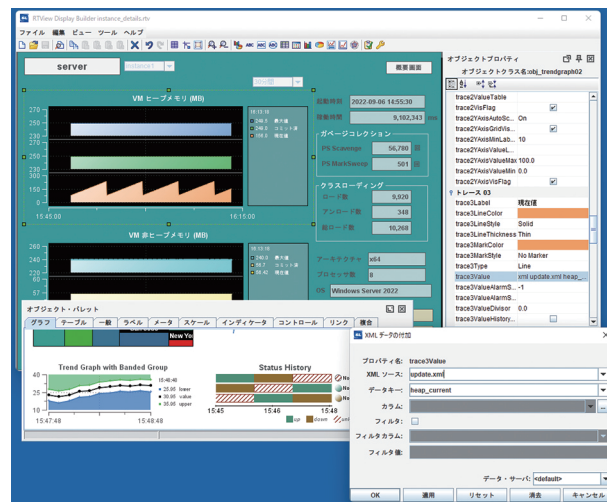
2022年8月2日 ニュースリリースより

SL ジャパンは、IoT 監視ダッシュボードを対話的にカスタム構築できる RTView の新バージョン 7.4 をリリースしました。

RTView では、ポイント&クリックで簡単操作のビルダー(右図)を使って、サービスやオペレーションに応じてグラフィックな監視ダッシュボードを自在にカスタム構築できます。そして、データベースをはじめとするミドルウェアに集約される、複数の工場やビル、データセンターなどからのさまざまな IoT データには、JDBC 対応の SQL アダプタですぐに接続できます。

作成した監視ダッシュボードは、RTView のディスプレイサーバによって Web ブラウザ運用でき、パソコン、タブレット、スマートフォンから職務役割別に閲覧操作が可能で、シンクライアントながらもリッチクライアント以上にコンテンツリッチな高対話性のダッシュボードを容易に実現できます。

RTView 新バージョン 7.4 では、Red Hat Enterprise Linux 9 と Java 17 をサポート追加、Log4J を 2.17.1 に更新および JQuery を 3.5.1 に更新でセキュリティ強化、ビルダーのデフォルトパレットを指定するコマンドラインオプション追加などに対応し、引き続き強化しています。



RTView 新バージョン 7.4 のポイント&クリック操作のビルダー

☆ニュースリリース全文はこちら:

https://www.sl-j.co.jp/newsevents/newsrelease/2022/sl_j_news_220802.shtml

☆RTView デモビデオ (一覧) はこちら:

https://www.sl-j.co.jp/demovideo/ertv_demovideos_new.shtml

SL-GMS J/Developer 新バージョン 4.6a リリース

監視制御システムのコンテンツリッチな Java GUI をリモートデスクトップ Web アクセスで高速に運用

2022年9月5日 ニュースリリースより

SL ジャパンは、監視制御システム(DCS/SCADA)のダイナミック GUI/HMI ならびに固有カスタムエディタを開発するための専用ツールとして長年の実績を誇る SL-GMS (C++, Java, .NET Framework, HTML5, .NET 6) ラインアップの Java 版 SL-GMS J/Developer の新バージョン 4.6a を、リリースしました。

1998 年にリリースされた SL-GMS J/Developer (Java) では、他 SL-GMS 製品と同様、SL-GMSDraw エディタ(右図)を使って、監視制御システムのダイナミックグラフィック画面を対話的に作成します。

そして、SL の突出した描画技術とコード生成技術をベースに、コードジェネレータで桁違いにコンパクトで高速な Java コードに変換でき、25 年経った今も、他の追随を一切許していません。

デスクトップアプリケーション運用で開発した高対話性かつ高性能なダイナミックグラフィック画面は、そのまま変更することなく、リモートデスクトップ Web アクセスで運用でき、ローカル運用と同等の高い性能で、パソコンやモバイルなどの幅広い端末からアクセスして操作できます。

今回リリースした新バージョン 4.6a では、Java 17 を追加サポートした他、SL-GMSDraw エディタのバージョンを最新の SL-GMS C++/Developer V7.2a ベースに更新しています。

SL-GMSDraw ダイナミックグラフィックエディタ



☆ニュースリリース全文はこちら:

https://www.sl-j.co.jp/newsevents/newsrelease/2022/sl_j_news_220905.shtml

今後の Microsoft 社による .NET X 開発動向に追随

今年5月にリリースした SL-GMS .NX/Developer と .NX/Custom Editor V1.0a は、最初の長期サポート(LTS)バージョンである Microsoft 社の新しい .NET 6 プラットフォームにいち早く対応した「新製品」です。

方向性がまだ流動的だった .NET 5 で開発を始め、.NET 6 プレビュー版、リリースカンディデートを経て、昨年11月にリリースされた .NET 6 で完成させたものです。

SL-GMS のモデルと API は、これまでどおり互換性を維持し、ベースが .NET Framework から新しい .NET 6 プラットフォームに変わるだけで、SL-GMS の使用は透過的です。

.NET Framework 版の SL-GMS と同様に、.NET 6 上の Visual Studio を使って開発(右図)し、画面を閲覧操作する Viewer コントロールとカスタムエディタである Editor コントロールを提供しています。

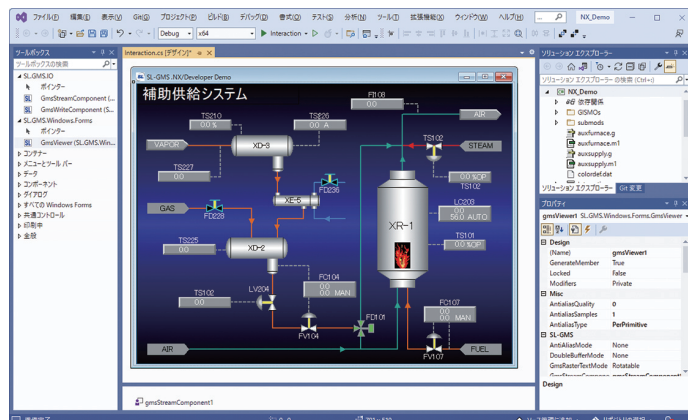
これまでの開発経験より、.NET Framework と似てはいるものの、.NET 6 は実質新しい別のプラットフォームであるため、お客様が独自に開発された SL-GMS『以外の』アプリケーションは、互換性のない部分を手直しの必要があります。

SL-GMS のドキュメンテーションサイトでは、.NET Framework 版 SL-GMS から .NET 6 版 SL-GMS への「移行ガイド」をご用意しています。また、Microsoft 社のウェブサイトでは、.NET Framework と .NET 6 間の(非)互換性リストが公開されています。

SL は引き続き、Microsoft 社と密な交信を続けながら、今後の .NET 6 以降の開発動向に追随しつつ、SL-GMS の互換性を維持して開発を進め、.NET X へ移行される SL-GMS ユーザ様を強力にご支援してまいります。

☆「.NET 6 版 SL-GMS .NX 新製品のハイライト」デモビデオ(2分17秒):

https://www.sl-j.co.jp/demovideo/slgms_demovideos.shtml?id=gmsnx_highlights



Visual Studio 2022 における SL-GMS .NX 新製品の .NET 6 ビューワーコントロール

SL-GMS Web/Developer (HTML5) による、Web 運用オプション

他 SL-GMS 製品 (C++, Java, .NET Framework, .NET 6) で開発したアプリケーションの Web 運用選択肢として

C++, Java, .NET Framework, .NET 6 版それぞれの SL-GMS 製品で、SL-GMSDraw エディタを使って開発した動的属性を持つグラフィック画面は、SL-GMS Web/Developer 製品で HTML5 コードに変換して、Web 運用することが可能です。

SL-GMS Web/Developer は、同じ SL-GMSDraw エディタで対話的に作成したダイナミックグラフィックモデルを、そのコードジェネレーターを使って、比類なくコンパクトで高速な HTML5 コードに変換します。

SL が長年培ってきた描画とコード生成技術により、他では決して真似できない、高対話性で高性能なグラフィック監視画面の HTML5 による Web ブラウザ運用を容易に実現できます。

さらに、SL-GMS Web/Developer では、HTML5 各種の動的グラフとテーブル、詳細画面へのドリルダウン機能なども提供しており、従来の C++ や .NET Framework ベースの制御システムや遠隔装置からのデータを集約して監視するダッシュボードも簡単に作成して、クラウド運用できます。

☆「.NET 版 SL-GMS でリモートデスクトップ運用しているグラフィック系統図を HTML5 に変換して Web 運用」デモビデオ(2分38秒):

https://www.sl-j.co.jp/demovideo/gmsweb/WebDev_PetroleumPlant/WebDev_PetroleumPlant.html



各 SL-GMS 製品 (C++, Java, .NET Framework, .NET 6) の SL-GMSDraw で開発した制御システムのグラフィック画面を HTML5 に変換して Web 運用

Real-Time Visibility



株式会社 SL ジャパン

〒107-0062 東京都港区南青山3-8-5 アーバンプレム南青山 3階
Tel. 03-3423-6051 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp

年3回発行 2022年9月27日発行 通巻 73号

◆記載される会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
◆記載内容は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
◆記載事項の一部または全部の無断転載を禁じます。